

研究課題(テーマ)		医薬品工学科のキャリア形成支援	
研究者	所属学科等	職	氏名
代表者	医薬品工学科	教授	磯貝泰弘
研究結果の概要			
<p>本学科では、2017(平成29)年4月の学科創設から、卒業生の県内製薬産業を担う人材育成を目指して教育を行ってきた。2021(令和2)年に、最初の学部卒業生を送り出し、その一期生は、大学院に進学しなかった就職希望学生15名中13名が製薬関連企業に就職し、そのうち8名が富山県に本社を置く会社であった(12名が富山県に勤務)。二期生は、就職希望学生17名中14名が製薬関連企業に就職し、そのうち10名が富山県に本社がある会社であった(13名が富山県に勤務)。申請時、これらを上回る学部卒業生の就職実績と大学院博士前期課程修了一期生の良好な実績を実現することを目標として、支援活動を行った。その結果、2022(令和4)年度の卒業生36名のうち、就職希望学生16名中14名が製薬関連企業に就職し、そのうち9名が富山県に本社を置く会社であった(10名が富山県に勤務)。また、医薬品工学科を卒業した大学院修士一期生14名のうち、就職を希望した13名中11名が製薬関連企業に就職し、そのうち富山県に本社を置く会社が6名(富山県勤務7名)であった。これらの実績により、当初の目的は達成出来たものと考えられる。</p>			
今後の展開			
<p>本年度は、前年から続いたコロナウィルス蔓延による外出制限や会合の自粛により、当初計画したような工場見学や会社訪問、講演会の実施は困難であったが、リモート会議などの活用により支援を行った。今後は、疫病の沈静化に伴い、現地での工場見学や会社訪問、対面による講演会や交流会の実施の機会を増やし、これまでと同等以上の実績を上げ続けることが期待出来る。</p>			